

あ い さ つ

福岡県中学校理科研究会

会 長 熊 谷 善

第74回福岡県中学校理科研究大会 北九州地区（北九州市）大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、本大会の開催のために、ご後援・ご支援を賜りました、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、福岡県教育文化奨学財団をはじめ、関係の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の全国中学校理科教育研究会 三重大会（8/9～10）が、研究主題「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」、大会主題「自然の事物や現象に目を向け、科学的な探究活動を通して、未来を創造する力を育む理科教育」のもとに、対面型とオンライン型の「ハイブリッド」で開催されました。福岡からは、第2分科会（学習指導・評価）で福岡市立金武中学校の中野哲次先生が、タイトル「『主体的に学習に取り組む態度』の指導と評価～OPPシートによる社会情動スキルの育成を通して～」で実践発表し、意見交換を行いました。コロナ禍ではありましたが全国から多くの先生方が集い、有意義な大会となりました。なお、上記の研究主題は、各都道府県理科研究会共通のものとして令和元年度から共有されており、この研究主題を踏まえて、北九州地区大会主題「学習指導要領が求める資質・能力の育成を図る理科学習指導法の研究～育成する資質・能力を明らかにした理科学習指導～」は設定されています。

各主題にある「資質・能力の育成」については、中学校の各教科で目指すべき目標として掲げられ、理科においては次の3つの柱があります。1つ目の「何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）」では、「自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする」ことです。2つ目の「理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」では、「観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う」ことです。3つ目の「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等）」では、「自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う」ことです。

新学習指導要領で強く打ち出されている「資質・能力の育成」に焦点をあてた研究を通して会員同士が情報交換を行うことは、大変意義深いものと考えています。本大会の取組から得られた成果と課題を検証し、福岡県の中学校理科教育がますます充実・発展することを期待するとともに、子どもたちが様々な経験を通して理科の面白さを実感し、夢や希望がもてるようになることを願っています。

最後になりますが、本大会の開催に向けてご尽力いただきました北九州地区（北九州市）大会実行委員長 北九州市立浅川中学校校長 川津博司先生をはじめ、大会の準備・運営等に関わっていただきました全ての先生方に、心より感謝申し上げます。

令和4年度 第74回福岡県中学校理科研究大会 北九州地区（北九州市）大会

大会主題

学習指導要領が求める資質・能力の育成を図る理科学習指導法の研究
～ 育成する資質・能力を明らかにした理科学習指導 ～

1 期 日 令和4年11月11日（金曜日）

2 会 場 北九州市立浅川中学校
〒807-0871 北九州市八幡西区浅川学園台二丁目4番1号 TEL093-601-9323

3 主 催 福岡県中学校理科研究会 主 管：北九州地区中学校理科研究会

4 後 援 福岡県教育委員会 北九州市教育委員会
公益財団法人福岡県教育文化奨学財団

5 日 程

13:20	14:00		15:00		15:30	16:50	
受付	移動 休憩	公開授業 (50分)	移動 休憩	開会行事 (30分)	記念講演 (80分)	閉会 行事	
	13:50	14:50		15:30		16:50	17:00

6 公開授業

- (1) 第3学年 单元名 「化学変化とイオン」
授業者 星 原 慎 也（北九州市立浅川中学校 教諭）
- (2) 第2学年 单元名 「電流とその利用」
授業者 百 崎 正史郎（北九州市立浅川中学校 教諭）

7 開会行事

- (1) 主催者挨拶 福岡県中学校理科研究会 会 長 熊 谷 善
- (2) 来賓挨拶 福岡県教育委員会・北九州市教育委員会
- (3) 来賓紹介
- (4) 研究構想提案 北九州市立則松中学校 指導教諭 小 林 珠 美

8 記念講演

- ◇演 題 「生徒の『主体的・対話的で深い学び』を実現する
理科の授業づくりを考える」
- ◇講 師 文部科学省初等中等教育局
視学官 藤 枝 秀 樹 先生

9 閉会行事

- ◇挨拶 次期大会実行委員長（南筑後地区）